

新潟県立長岡工業高等学校同窓会東京支部会報

東京支部だより

第 8 号

〒145-0064

東京都大田区上池台 2-1-5-505

発行人：支部会長 並木 政治

編 集：会報編集委員会

ご挨拶

同窓会東京支部 会長 並木 政治 (28W)



東京支部会員の皆様にはご健康にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

バブル崩壊以後続く不況でリストラや派遣切り等で多くの方が職を失い、新しく卒業する学生が就職できないものが出るなど大きな社会問題となっていますが、今年も母校の卒業生は進学、就職に 100%の達成と聞き喜んでます。これも同窓諸氏の社会での貢献とあらゆる分野で働く実績が大きな信用となり、社会全般に認められている結果だと思えます。今後とも我々も健康に留意して頑張りましょう。

今年も 7 月 3 日に東京支部総会が上野のラ・ベルオーラムで行いますが、毎年多くの会員の出席をいただき、楽しい語らいの場にしていただけたらと願っています。

毎年お願いしている事ですが、案内状による出席・欠席の返事を必ず出して下さい、お願い申し上げます。次に会費の納入の件ですが、年会費千円をお願いしていますが、年々納めてくださる人が減少しています。減少傾向が止まりません。役員一同手弁当で頑張ってもらっていますが良い考えがありません。会員各位の暖かいご支援ご協力をいただき、東京支部の発展になればと願っています。新会員及び若い会員の増えないなかで現在の会員の皆さんが頼りです。どうか 7 月 3 日役員一同心から大勢の参加をお待ちしています。

末筆になりましたが支部会員各位のご健康とご発展を祈念いたします。



ご挨拶

同窓会東京支部 副会長 樋口 昭 (29E)



街路を飛び交うツバメが初夏の到来を告げる爽やかな候となりました。会員各位におかれましてはご壮健のことと推察申し上げます。

人生の価値観、幸福感は人それぞれ異なりますが、昨今、人間関係が希薄になっているのではないかと危惧しています。一番より二番を好む人など価値観は更に多様化しているものと思います。人生の価値観は物的欲望が満たされた時に「幸福である」と感じることも、精神的に満たされる「心の幸せ」が大切ではないでしょうか。心の幸せは「多くの良き仲間と囲まれ」「お互いに喜ばれる存在になり」「感謝し、感謝される関係になること」であると思います。これが「人生の価値観であり」「人生の目的であり」「人生の楽しみ」ではないでしょうか。

本年も他に誇れる「長工同窓会東京支部総会」の時と成りました。青春を一つの目的に向かって学び競い合った「強い絆」の同窓の士が一同に会することで「心の幸せ」が醸成されるものと思っています。支部総会では母校創立 108 周年を誇りとして「心の幸せ」が得られますよう郷土芸能などの催しが計画されています。

会員各位、お誘い合わせの上、多数のご出席をお願い致します。更に 110 周年に向けて邁進しようではありませんか。

私も副支部長として非力ではありますが並木支部長を補佐し同窓会の発展に務めてまいります。諸兄の更なるご指導ご支援の程宜しくお願い致します。

末筆ながら、会員各位の益々のご健勝をお記念申し上げます。



東京支部役員登場

長工同窓会東京支部役員として 支部理事 成田 修 (44M)



この度、理事(名簿担当)を仰せつかりました成田(S44-M)と申します。

5、6年前から同窓会・東京支部総会に毎年参加するようになり、また、同窓会では自分としても15年程度、趣味として続けているジョギングに関して、走る仲間が出来るジョギング同好会に入会させて頂いたことが、支部活動に関心を持つきっかけとなりました。私事で恐縮ですが、某大手通信キャリア(N社)を4年前に退職し、現在は通信キャリアから仕事を頂く、通信建設会社に再就職して品質検査業務を行っております。今年で還暦となりますが、年金も65歳までは貰えない身でありますので、もう少し現役に拘り続けたいと考えている昨今です。従いまして理事の業務を全うできるかどうか若干の不安もありますが、出来る限りの努力をしていくつもりですので、どうぞよろしく、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



市原の片隅より 支部理事 坂西 保 (36E)



昭和36年電気科卒の阪西です。出身は魚沼市堀之内町であります。

卒業以来既に49年、千葉は市原市の片隅で平凡に過ごしております。これまでの市原というと、京葉工業地帯の中心にあったことから公害の多い町のイメージでしたが、今やその形は少なく、温暖でスポーツの盛んな、とても住み良い町として変わりつつあります。サッカーでは、昨年残念ながらJ2に降格したJEF市原・千葉があるほか、高校野球においては、同じ町内にある東海大望洋高校がこの春の選抜に選ばれました。私個人としては、まだ元気ですので定年はしましたが、そのまま継続してアルバイトをしているほか、支部の登山同好会LMCに入会し山歩きやスキー等を楽しんでいます。これからも元気に、残る人生を大いに楽しんで行きたい、と考えています。どうぞ宜しくお願い致します。



支部会費の現状 支部会計理事 金井博光 (44M)



会費納入に当たり皆様には大変お世話になっております。平成14年に「東京支部」として再スタートさせていただいた時から会計を任されております。その関係で今回は会計の現状についてお話申し上げます。

平成14年時点では各会から新生「東京支部」に余剰金を出し合い、集まった金額から会計がスタートしました。私は機械会の出身でしたので、「所帯の大きい機械会からの入金が一番多い」と予測しておりました。実際はマイナス残高になっており、残念な事に機械会からの入金はありませんでした。機械会は井口会長が事務処理をお一人で担当されておりましたので、会員名簿の管理は業者に委託しておりました。機械会は1,000人を越えた名簿管理をしており、手作業での管理を断念された結果、業者委託を選択されたと思われます。電気会は数人の役員の方が、機会ある毎に集まり、協力し合って事務処理をこなしておられました。この差が余剰金の有無に繋がったのだと判断しています。

「東京支部」発足当初は、74万円強の残高と、多くの会員に支えられ会の運営を行って参りました。中には、「収入の範囲内で支出しないと、いつか破綻する」という意見も出ておりましたが、「年会費を上げずに運営する」に主眼をおいて参りました。残高が目減りしてゆくことは、想定の内でのことでした。ここに来て、危険水位に入ってきた為、創意工夫が必要になっております。これまでの会費経過状況を次ページに掲載致します。

平成14年発足当時の繰越金

| 会 | 金額 |
|-----|---------|
| 化学会 | 240,000 |
| 電気会 | 365,112 |
| 染織会 | 20,000 |
| 電子会 | 115,808 |
| 機械会 | 0 |
| 合計 | 740,920 |

会費の収入と支出の関係

| | 2002 | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 |
|------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|
| | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 |
| 収入金額 | 846,961 | 2,056,983 | 1,748,523 | 1,724,345 | 1,471,717 | 1,082,255 | 945,282 |
| 支出金額 | 142,646 | 1,352,460 | 1,115,173 | 1,024,168 | 1,058,562 | 866,267 | 607,874 |
| 繰越額 | 704,315 | 704,523 | 633,350 | 700,177 | 413,155 | 215,988 | 337,408 |



会員だより (平成 21 年度 70 歳表彰者)



今年は、2 名の方が 70 歳功労者表彰を受けられ、ご執筆頂きました。誠にありがとうございました。これからも健康にご留意され、ますますのご活躍を祈念いたします。



古希を迎えて

高橋孝夫 (32E)

同窓会会員各位に於かれましては益々ご清栄のことと推察いたします。

小生、昨夏の東京支部同窓会の折には囃らずも古希のお祝いを賜り大変恐縮いたしました。今まで入院にいたるような病気もせずにご過ごしてきたことは、健康な身体を授けてくれた両親と最愛の家族のお陰あってこそそのものと思えます。顧みれば、未だ十八歳になって間もない紅顔の壮年(?)が学窓を離れて、就職のため、長岡駅を立ち東京へ向ったときのことが昨日のように臉に浮かんできます。ホームで見送ってくれたおふくろとの別れが、今生の別れのような気がして涙が止まりませんでした。

就職先は日本航空、以来いろんな出来事がありましたが六十三歳まで勤めさせていただきました。昨今の日本航空の在りようを思うと本当に複雑な思いです。今は年金で何とか人並みの人生を楽しませていただいております。会員各位のご健勝を祈念申し上げます。



半生を振り返って

宮田 隆(32E)

小生は昭和32年に富士電機(株)吹上工場に就職、現場実習もそこそこに設計に配属され、以来右肩上りの景気にひたすら図面書きをやりました。当時はコンピュータ設計など無く全部鉛筆書きで、のんびり出来たのも入社数ヶ月迄で、以後は大変忙しく、東京オリンピックは実況を見た覚えがありません。仕事は、そこそこ面白く時間が気にならず、今振り返ってみるとよく頑張ったものです。家に帰るのは夜中、納期がらみで徹夜などもしょっちゅう、当時は母子家庭と揶揄されていました。子供たち 3 人も独立し夫婦二人の生活となりました。

定年退職後は地元貢献をやれということで自治会の役や小学校の応援団で見守りボランティア、お年寄り(自分も十分老人だが)のいきいきサロン、公民館の運営プログラムなどに関わり10年になります。身体を動かすために、畑を借りて我流の家庭菜園をやり、少々最近のITを囃り、少しだけ頭を使う事を心懸けています。元気で過ごせるようにしたいものです。

最後に、70歳の表彰を頂いた同窓の皆様にご感謝申し上げ、今後も長工同窓会東京支部の発展をお祈りいたします。

同好会活動報告

登山同好会

LMC 隊長 樋口 昭(19E)

リーダー 川澄 昂(38E)

平成21年 夏～秋 活動記録

7月11日～13日:阿蘇・九重連山

10月17日～18日:芋煮会 於:サクラファーム

8月 5日～ 7日:鳥海山

12月19日～20日:忘年山行・武蔵御岳

平成22年 冬～春 活動記録

1月14日 新年山行 景信山～高尾山

3月17日～18日:白樺高原ロイヤルマウンテンスキー場

2月13日～14日:西丹沢檜洞丸

4月 3日～ 4日:守門雪庇ツアー

関東の冬山「西丹沢・檜洞丸 1600m」山行報告

ツツジコースの箒沢登山口からは先日の降雪でわずかばかり白くなっている程度、落葉の絨毯を踏んで快調に登る。ゴウラ沢出合いから 1400m 付近まではアイゼンを着ける必要もなかったが傾斜は厳しくなり丸太階段が続く。山頂は積雪 30 cm、雲が厚く富士山を望むことは出来ない。気温マイナス7度。梢の先端は凍結し透明な氷に覆われた「雨氷」が夕日を浴びて輝いている。(霧氷は不透明で純白)

小屋では肉とたっぷり野菜のチゲ鍋の自炊、うどんを煮込んで酒盛りが始まる。翌朝は厳しい冷え込みの中を犬越路峠を目指して行動開始。夏道でもこのルートは険しい断崖の連続になる、氷った鎖を掴ると手袋が張り付いて引き離すのに難渋する。雪塊で重く垂下った太い枝が行く手を阻む、かがんで通過すると途中でザックが引っ掛って「ギャッ」とする。匍匐前進(四つん這い)しかない。雪まみれの格闘が続いて標準所要時間の倍を要したが、下山地点にたどり着いたときの満足感は何にも代えがたい、麓の温泉で冷えたビール喉を潤し、また次回山行の話題に花が咲く。



散歩クラブ

幹事 小島 洋 (37e)

散歩クラブは初夏の第6回、秋の第7回を行いました。

第5回は5月に9名の参加を得て、根津神社の躑躅鑑賞を中心に、谷中銀座、谷中の町並み、上野東照宮を散策しました。岡倉天心の住居跡、経王寺の戊辰戦争の銃弾跡、など興味深い散策でした。根津神社の躑躅は時期が遅れ、次回入園券を貰って残り花を鑑賞しました。終了後の反省会は上野の居酒屋で楽しい反省会を行いました。

第7回は11月に9名の参加を得て、都心の渓谷の秋を求めて等々力渓谷から多摩川べりを散歩しました。紅葉は遅れていましたが、所々紅葉が散見し、深い森を感じさせる渓谷でした。近くには、野毛大塚古墳や日本庭園があり、また夕日に照らされた多摩川は遠くに富士山のシルエットが見え、楽しい散歩でした。反省会は二子玉川の居酒屋で行いました。



散歩クラブでは皆様の入会をお待ちしております。散歩の参加は自由で、都合のつく企画のみ参加できます。入会希望の方は幹事までご連絡ください。

e-mail : h-kojima@star.ocn.ne.jp

ジョギング同好会

世話役 成田 修 (44M)

昨年と同じで朝から小雨の降る中、第 28 回三浦国際市民マラソン大会が開催されました。ジョギング同好会の第 15 回目の定例大会となります。この大会も市民ランナーに人気のある大会で、今年も 1 万人を越えるランナーがエントリーしているようでした。

今回は 5km の部に 40W の堀さん、40C の加藤さん、10km の部に 37C の小嶋さん、そして私 (44M) が参加しました。また、応援では並木支部長 (28W) をはじめ、土田さん(28M)、星野事務局長(30C)、長橋さん(33W)からご参加頂き、競技参加者も心強く、冷たい雨と風の吹く中でしたが無事完走することが出来ました。

完走後は例によって三浦海岸駅近くの鮎処”紀川”で反省会を開催し、冷えた体を温めるとともにスポーツ談義やら緒先輩方の経験談に花が咲き、あっという間に 2 時間近くが過ぎておりました。反省会後には三浦海岸駅前の葉桜に近くなってしまった河津桜の木の前で記念写真を取り、帰路に着きました。(今年は 2 月あたりに暖かい日があったので更に早く咲いてしまったのでしょうか。) 来年こそは快晴の中で更に盛大に開催したいものです。会員以外の方で日常、密かにトレーニングしている方は勿論、少し早い花見をしてみたい方、その他理由は何でも結構ですので参加大歓迎です。次回は 11 月の横浜マラソン大会(予定)となります。



東京支部ホームページ開設

広報 HP 担当理事 杉本 久栄 (35E)

長工同窓会東京支部の皆様、我が会のホームページをインターネットでぜひご覧ください。(長岡工業高校同窓会東京支部と検索あるいは下記 URL)

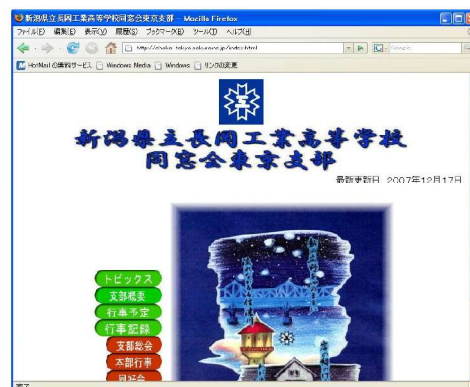
このホームページは会員相互を結び情報交換の場として作成されています。総会懇親会のお知らせや、毎年の総会懇親会の模様、同好会の活動状況、会員の皆様、学校長や本部会長からの投稿等も掲載されています。また、会員の皆様が開設しているホームページもリンクしていますので、これもぜひご覧になって下さい。

皆様からの情報があれば即掲載したいと考えていますので、同級会、仲間の情報、ご意見等下記メールアドレスまでご連絡ください。

(ホームページ上からも投稿できます)

ホームページ URL ; <http://choko-tokyo.sakura.ne.jp/>

連絡用メールアドレス ; kjsugimoto@gmail.com



会員からの特別寄稿

(本稿は同窓会東京支部ホームページより抜粋編集して掲載しました)

マイ趣味「座禅」

小嶋 義輝 (37C)

座禅は、釈尊が「ありとあらゆるものの、あるべき姿を正しく見極め、世の中の全ての存在は仏の姿に、悟りとして現れている。」という悟りをお開きになった事からはじまっています。

身を調べ、息を調べ、そして心を調べて心の安らぎを深め、その場限りのストレス発散では味わい無いもつと心の奥のほうを和ませてくれます。そして足を組んだ座禅は本来、人間が最も自然に添った生活をした時の形なのです。ゆったりと河が流れるように、風が吹いて木々の梢が揺れるように、自我をたてずに自然界の一員として生きていく形です。

座禅についてその作法をご紹介します。

座禅の前に

- * 装身具、時計などは外し、靴下などは脱いでおきましょう。
- * 座蒲は自分の体に合ったものを使いましょう。

- * 堂内では静かにしなければなりません。私語を慎みましょう。
- * 堂内を歩くときは、必ず叉手にします。また、聖僧様の前を横切ってはいけません。
- * 座ったとき、隣の人にあわせて一列になるようにします。



1. **掌(がっしょう)**: 相手に尊敬の念を表す事です。両手のひらを合わせてしっかりと指を揃えます。指の先を鼻の高さに揃えて鼻から約十センチ離します。肘を軽く張り肩の力は抜くようにします。
2. **叉手(しゃしゅ)**: 立っている時、歩く時の手の作法です。左手の親指を中にして拳を作り、これを胸に軽く当てて右手のひらでこれを覆います。
3. **法界定印(ほっかいじょういん)**: 正座の時、座禅の時の手の形です。右手のひらを上向きにして組んだ足の上に置き、その上に左手のひらを同じように上向きにして置き、両方の親指の先をかすかに接触させます。力を入れて押しはいけません、決して離さない様になります。
4. **隣位問訊(りんいもんじん)**: 坐る両隣の人への挨拶です。自分の坐る位置に着いたら、その場所に向かって合掌低頭します。両隣に当たる二人はこれを受けて合掌します。
5. **対坐問訊(たいざもんじん)**: 坐る向かいの人への挨拶です。隣位問訊をしたら、合掌のまま右回りをして向かいに坐っている人に合掌低頭します。向かい側の人はいこれを受けて合掌します。
6. **面壁(めんぺき)**: 壁の方に向くことです。対坐問訊をしたら、そのまま座蒲の上に腰を下ろします。その時、背骨の下に座蒲の中心がくるようにします。一方の手で座蒲を持ちもう一方の手で畳を押すようにして回り、壁の方へ向かいます。
7. **結跏趺座(けっかふざ)**: 両足を組む坐り方です。まず、右の足を左の股の上に深くのせ、次に左の足を右の股の上にのせます。足を組んだら手は法界定印を結びます。
8. **半跏趺座(はんかふざ)**: 片足を組む坐り方です。右の足を左の股の下に深く入れ、左の足を右の股の上に深くのせます。結跏趺座でも半跏趺座でも肝心なのは、両膝を確実に地につけ、両膝とお尻の三点で上体を支えることです。
9. **左右揺振(さゆうようしん)**: 身体を落ち着かせるために行います。上半身を振り子のように大から小へ左右に振り動かして、座相をまっすぐに正しく落ち着かせます。
10. **上体の作法**: 背骨をまっすぐに伸ばし、下腹を突き出すようにして腰にきまりをつけます。両肩の力を抜き、首筋には力を入れず顎を引き、頭で天を突き上げるようにすると背骨がまっすぐになります。
11. **目の作法**: 目は閉じてはいけません。自然のままに開いておきましょう。視線は、およそ一メートル前方、約45度の角度に落としたままにして、よそ見をしてはいけません。
12. **欠気一息(かんきいっそく)**: 形を正したところでの息です。深々と息を鼻から吸い込み、これを徐々に口から吐き出します。この深呼吸を数回行った後は、自然と鼻からの呼吸にまかせます。
13. **口の作法**: 舌の先を上歯の内側の付け根につけ、歯をしっかりと揃え唇を密着させます。口を真一文字に結んで、開けたり動かしたりしてはいけません。
14. **思いをはなつ**: 様々な思いにとらわれない事です。目に映るものにも耳に聞こえる音にも、鼻に匂う香りにも心に浮かぶ思念にも、なるがままそれらの一切に引き込まれないように、気にかけてはいけません。
15. **止静鐘(しじょうしょう)**: 座禅の始まる合図です。参禅者の身相が整う頃、堂頭が入堂して堂内を一巡し、正しい座にあるかを点検します。これを検単といいます。堂頭が自分の後ろに巡って来た時は合掌をし、通り過ぎた後に法界定印に戻します。この後、止静鐘(鐘三回)が鳴ります。止静鐘が鳴ったら堂内に入出入りをしてはいけません。
16. **警策(きょうさく)**: 心のゆるみを警める為に使います。眠気がしたり心が乱れたり時などに自分から合掌して受ける方法と、姿勢が悪かったり寝ていたりする人に直堂(堂内を監督する者)の方から入れる方法があります。どちらの場合も右肩軽く打って予告しますので、そうしたら合掌のまま首を左に傾け右肩をあけるようにします。受け終わったら合掌低頭してもとの法界定印に戻します。
17. **経行(きんひん)**: 座禅が長時間行われる場合に、堂内をゆるやかに静かに歩行することです。座禅中に経行鐘(きんひんしょう)(鐘二回)が鳴ったら、合掌低頭し左右揺振して足を解き右回りで向きを変え静かに立ち上がります。座蒲を直し隣位問訊(りんいもんじん)、対坐問訊(たいざもんじん)をします。その後叉手(しゃしゅ)にして呼吸を整え、一呼吸に半歩ずつ右足より歩を進めます。息を吸って吐く間に、足の甲の長さの半分がけ歩を進めるのです。列の前後を等間隔に保ち、堂内を右回りに緩歩(かんぽ)します。呼吸の仕方や上体の姿勢、目や口元などは座禅の場合と同様です。時間になり抽解鐘(ちゅうかいしょう)を聞いたら、直ちにその場に両足を揃えて止まります。叉手のまま低頭し、普通の歩速で進行方向に進み自分の坐っていた場所に戻ります。隣位問訊、対坐問訊したのち座禅を続けます。
18. **終わり**: 放禅鐘(ほうぜんしょう)(鐘一回)が鳴ると座禅の終わりです。合掌低頭した後、今度は両手のひらを上にして膝に置き、最初とは逆にはじめは小さくだんだん大きく左右揺振をします。体をほぐした後、足を解き右回りで向きを変えます。立ち膝になり座蒲を元の形に直します。直し終わったら立ち上がり、隣位問訊、対坐問訊をして叉手で退堂します。

平成 21 年度総会報告(写真集) 平成 21 年 7 月 4 日



受付風景



会場 ラ・ベル・オーラム

校同窓会



支部長挨拶

平成 21 年度 第 31 回
同工業高校同窓会 総会・懇親会



来賓祝辞

長岡工業高校



副支部長挨拶



懇談風景



懇談風景



若波会による佐渡おけさ、相川音頭



皆も一緒に輪になって

『海ゆかば・・・』

英霊の眠る南太平洋の島

山崎九二男氏 昭和 23 年機械科卒

氏はある団体の要請で平成 19 年シベリアにて喇叭を吹奏し、英霊のご冥福をお祈りいたしましたが、今回、平成 21 年 10 月に南の島ガダルカナルにて旧日本兵のご英霊を供養するため鎮魂喇叭を吹奏いたしました。

(同窓会・東京支部長 並木政治 記)



総会アンケートと今後の運営について

理事・総会担当統括 原勝英 (44M)

昨今の不況のあおりを受け、皆様ご苦労されておられるのではなかろうかと思えます。我々総会担当チームも総会開催に当り、日頃努力しておりますが、年々参加者が減少しております。皆様のご協力を頂き活性化を図って行きたいと思えます。昨年度より新しい試みとして、総会の懇親会に対するアンケートを実施いたしましたところ 8 割の方が回答してくださいました。

アンケートの結果、懇親会の内容としては 8 割強の方が、良かった、適当であったとの回答をいただきました。また、会費についても 8 割近くの方が妥当とであるとの意見でした。

この結果を踏まえて、22 年度総会懇親会に役立てて行きたいと思えます。今後もアンケートを続け、懇親会の運営にやくだてるとともに、皆様に喜ばれる会に持っていきたいと思えます。



住所不明者の情報収集のお願い



昨年の総会・懇親会に登録会員の皆様にご案内を発送しましたが、下記 4 名の案内状が宛先不明で戻ってきました。皆様の中で心当たりの方がおられましたら、長工同窓会東京支部役員あるいは名簿担当までご連絡ください。

| No. | 卒業年度 | 科別 | 氏名 | 本部コード | No. | 卒業年度 | 科別 | 氏名 | 本部コード |
|-----|------|----|-------|----------|-----|------|----|-------|----------|
| 1 | 昭 24 | 機械 | 野口 英次 | S24M019B | 3 | 昭 50 | 染織 | 高野 信 | S50W130 |
| 2 | 昭 50 | 機械 | 廣井 徳行 | S50M028D | 4 | 昭 55 | 機械 | 磯部 裕之 | S55M005B |

名簿担当：〒261-0026 千葉市美浜区幕張西 3-5-9-204 大関 稔 Tel: 043-272-8897 Email: ozeki@cba.att.ne.jp



- ◆ 今年は冬も春も寒さと暖かさがめまぐるしく変わり、気候変動を肌で感じました。夏にはどのような気候が待っているのか心配です。皆さん、健康に注意して支部総会は元気でお会いしましょう。(HK)
 - ◆ 新卒者就職率 70%と聞くと大変な世の中になったものと考えさせられます。政権が交代しても政治も産業も一向に良くなりません。でも諦めずに個人々々しっかり考えて行動しましょう。(HK)
 - ◆ 同窓会活性化のため、編集や記事に関する皆さんのコメントをお待ちします。(編集委員一同)
- 編集委員コメント宛先：小島 洋 (TEL & FAX: 042-648-7250, Eメール h-kojima@star.ocn.ne.jp)